

「平成最後の夏」 どう過ごす？ 社会人の理想の連休日数は5連休 この夏にしたいことは「国内旅行」が1位

<平成最後の夏に関するアンケート>

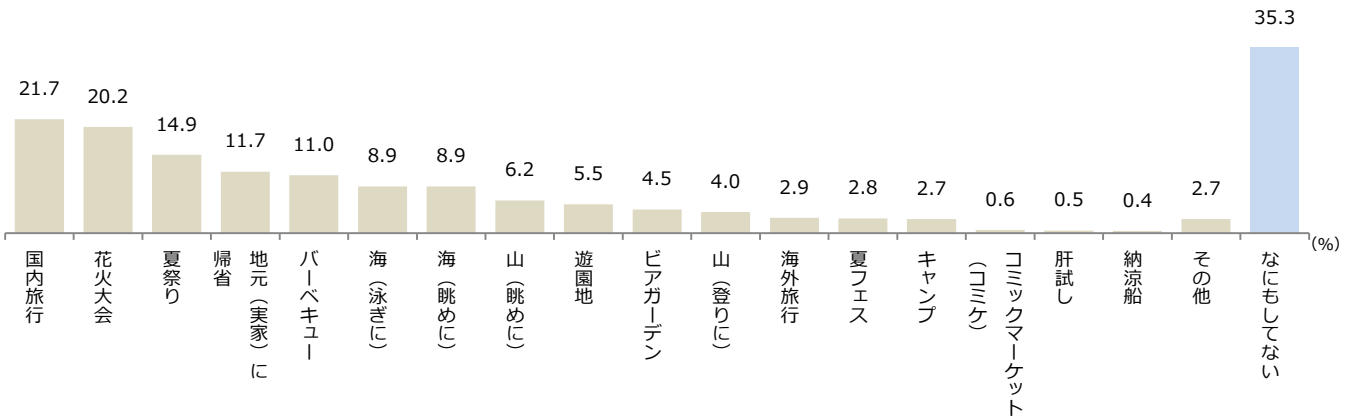
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国47都道府県に在住する20歳～69歳の男女を対象に「平成最後の夏に関するアンケート」を実施しました。

◆自主調査レポートの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/cromegane/hs20180626/>

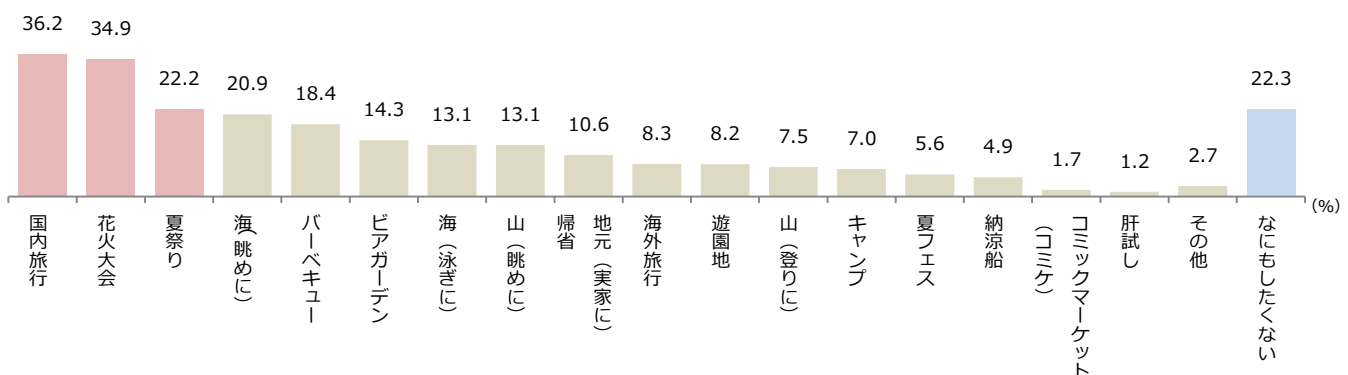
■ 調査結果（一部抜粋）

- ☑ 2017年の夏に行った場所・したことを聞くと「なにもしてない」が35.3%で最多という結果に。昨年はどこかへ出掛けるなどで夏を楽しむことが少なかった様子。対して2018年の夏に行きたい場所・したいことを聞くと「国内旅行」「花火大会」「夏祭り」などが上位に挙がった。「なにもしたくない」は22.3%となり、2017年の「なにもしてない」より10pt以上減っている。平成最後のこの夏に遠出や夏ならではのイベントを楽しみたい気持ちがうかがえる。<図1-1,図1-2>
- ☑ この夏もっとも一緒に過ごしたい相手は、全体で「配偶者」が34.7%で最多。次いで「ひとり」「子ども」「恋人」「友人」となった。性年代別で見ると、男性は年代が上がるにつれて10pt前後の割合で「配偶者」の回答が増えるが、女性は年代が上がっても男性ほど増えず、子どもや友人の回答割合が男性に比べて高い。<図2>
- ☑ 有職者の人に、この夏の実際の連休日数と理想の連休日数を聞いたところ、実際の連休日数は「わからない」を除くと「5連休」が11.2%で最も多くなり「3連休」「0日（休みなし）」と続いた。理想の連休日数では「5連休」が23.6%で最も多く、次いで「7連休」「10連休」となった。実際の連休にあと数日休めるのが理想、という人が多いことがわかった。<図3>

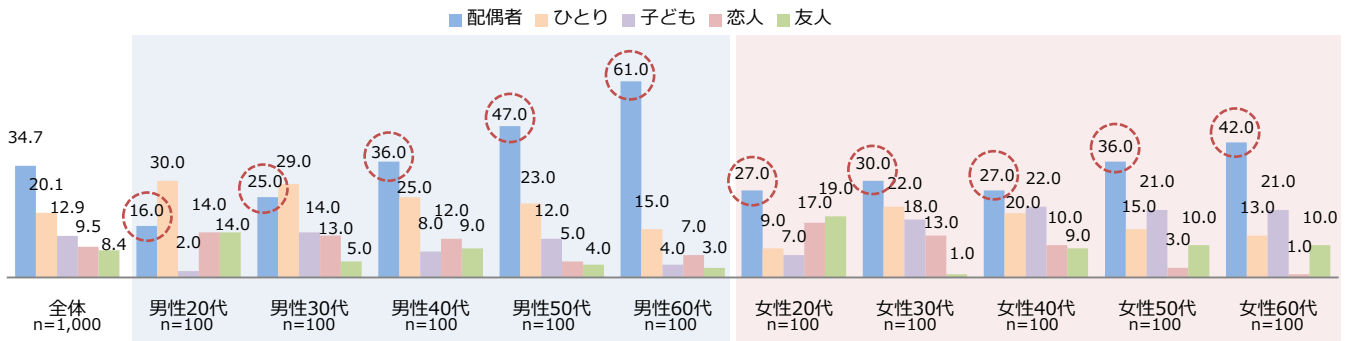
<図1-1> 2017年の夏に行った場所・したこと [全体ベース n=1,000]



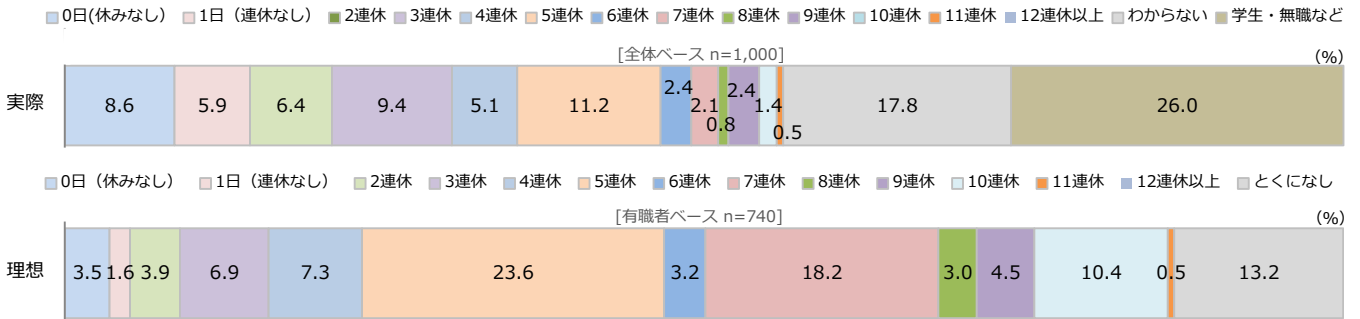
<図1-2> 2018年の夏に行きたい場所・したいこと [全体ベース n=1,000]



<図2> もっとも一緒に過ごしたい相手TOP5



<図3> 2018年夏の連休日数と理想の夏の連休日数



■ 全調査項目

- 属性設問 (性別/年代)
- もっとも一緒に過ごしたい人
- 夏が好きか嫌いか
- 2018年の夏に使う予算
- 平成最後の夏に行きたいところ・したいこと
- もっとも印象に残っている夏の思い出エピソード
- もっとも行きたいところ・したいこと
- 夏に失敗したこと
- 2017年の夏の過ごし方
- 夏の連休日数
- 夏の風物詩
- 理想の夏の連休日数

◆全調査項目結果DLはこちら ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/cromegane/hs20180626/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20~69歳の男女
 調査期間 : 2018年6月18日 (月) ~2018年6月22日 (金)
 有効回答数 : 1,000サンプル
 ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

■ 会社概要

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先 ◆

広報担当 : 東海林(しょうじ) TEL : 03-6859-2252 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp お問い合わせ : https://www.cross-m.co.jp/cromegane/cromegane_media/
 <<引用・転載時のクレジット表記のお願い>>
 本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」